

日赤奉仕団幌北分団

地域が好き、人が好き。
出会う人から活力をもらえる
ボランティア活動は、私の元気の源です。

私が思う、
北区の魅力・好きな場所

「北13条いこい公園」がお気に入りです。この公園は、隣接する学童保育（放課後児童クラブ）の子どもたちが伸び伸び遊べる空間を作りたいという、地域住民の声を反映して作られました。公園に植える樹木も意見を取り入れてもらったこともあって、特に思い入れがある場所です。市内で一番、きれいな公園だと思っています。

日赤奉仕団幌北分団
分団長 五十嵐 秀子 さん

1991年に入団。2年前から分団長に就任。ほかに連町の役員や民生委員などさまざまな地域活動に積極的に携わっている。



長年続けてきた雑巾の寄贈。計400枚を地域の学校、児童会館などに配布しています。写真は「幌北まちづくりセンター」への寄贈の様子

日赤奉仕団は、赤十字思想である人道と博愛の精神で地域活動を行うボランティア団体で、全国各地に分団が組織されています。北区の幌北分団は1956年4月に発足し、市内でも長く活発に活動を続けている分団の一つです。

赤い羽根共同募金の活動や献血ルームのボランティア、公園清掃、子育て支援などさまざまな形で地域に携わり、住みよいまちづくりに貢献しています。「陰の力となり人々に奉仕する」が私たち分団のモットー。活動を通していろいろな人や知らないことに出会えるので、私にとって元気の源です」と、分団長の五十嵐秀子さんは、うれしそうに話します。

多彩な活動の中でも花壇作りは、当分団の特徴的な取り組みの一つ。1979年に地域の美化運動として始まり、1991年から幌北小学校の3年生とともに作業を行うようになりました。毎年5月、団員と小学生が一緒になって、通学路の花壇に花苗を植えます。「市内にある分団の中でも小学校と連携しているのは私たちだけ」と五十嵐さんは胸を張ります。この共同作業

とともに団員が楽しみにしているのは、作業の後日に児童が企画してくれる交流会「ありがとうの会」やお礼の手紙です。「みんなとっても一生懸命。手紙からもそれが伝わってきて、胸がいっぱいになるんです」。

団員になって最も思い出深いことといえば、皇居で行われる4日間の奉仕活動に何度も参加できたこと。この体験は、今思い返してみても当時の感激がよみがえるほどです。「若い団員が少ないのは悩みの種ではありますが、私は地域も人も大好きですから、これからも楽しく活動を続けていきたいです」と、はつらつとした声で答えてくれました。

日赤奉仕団幌北分団
TEL.011-726-6345
(幌北まちづくりセンター内)